



令和5年4月25日

# 福岡県内経済情勢報告

令和5年4月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-9038

# 福岡県内経済情勢報告（令和5年4月）

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	一進一退の状況にある	緩やかに持ち直しつつある	↗
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

設備投資	4年度は増加見込み	4年度は増加見込み	→
企業収益	4年度は増益見込み	4年度は増益見込み	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	→

#### 【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店販売は、インバウンド需要や衣料品を中心としたセレモニー需要の増加などにより、前年を上回っている。スーパー販売は、商品単価の上昇により、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、引き続き行楽需要が好調であり、前年を上回っている。乗用車販売は、国内向けの生産増加により納期が改善しており、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、新規出店効果のほか、食料品や衣料品などが好調であり、前年を上回っている。家電大型専門店販売、ホームセンター販売は、前年並みで推移している。旅行取扱高は、全国旅行支援及び水際対策の緩和により、引き続き国内外への旅行が増加している。

### ■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械の自動車は、供給制約の影響が緩和されたことにより、生産台数が増加している。鉄鋼は、海外需要などが伸び悩んでいることから横ばい圏内で推移している。電子部品・デバイスは、海外向けなど一部に弱含みの動きがみられるものの、高水準で推移している。このように、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。

### ■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は改善の動きが継続しているほか、新規求人数も前年を上回って推移するなど、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

### ■ 設備投資 「4年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

4年度は、製造業は前年比12.8%の減少見込み、非製造業は同14.2%の増加見込みとなっており、全産業では同5.8%の増加見込みとなっている。

### ■ 企業収益 「4年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期

4年度は、製造業は前年比1.7%の増益見込み、非製造業は同18.1%の増益見込みとなっており、全産業では同12.3%の増益見込みとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数で見ると、持家、分譲住宅が増加しているものの、給与住宅、貸家が減少していることから前年を下回っている。

### ■ 輸出 「前年を上回っている」

輸出(円ベース)は、前年を上回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

(その他項目)

○ 企業の景況感を法人企業景気予測調査(5年1-3月期)の景況判断BSIで見ると、5年1-3月期は、「下降」超に転じている。先行きについては、5年4-6月期は、「上昇」超に転じる見通しとなっている。